

進相コンデンサで省電力を実現したアーク溶接機

登録番号	第 00239 号		
登録年月日	平成29年9月12日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	高力率型交流アーク溶接機 LAW-300-3型
所在地	大阪府豊中市
	パナソニック スマートファクトリーソリューションズ株式会社
所有者 (管理者)	パナソニック スマートファクトリーソリューションズ株式会社
製作者(社)	松下電器産業株式会社 (現：パナソニック スマートファクトリーソリューションズ株式会社)
製作年	1961年
初出年	1957年
選定理由	放電を利用したアーク溶接はあらゆる産業分野で大きな役割を果たしている。交流アーク溶接では電気の向きが変わる度に放電が消滅する。再放電に必要な高い電圧をリアクタンスで得るため、電圧より電流の波形が遅れる位相差が生じ、仕事に使われない余計な消費電力となっていた。本機は位相差を解消する進相コンデンサで、大幅な節電を実現した世界最初期の高力率型可動鉄心形交流アーク溶接機である。溶接技術の発展を示す資料として重要である。
登録基準	一ーイ (科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの)

公開・非公開	非公開
写真	
その他参考となるべき事項	